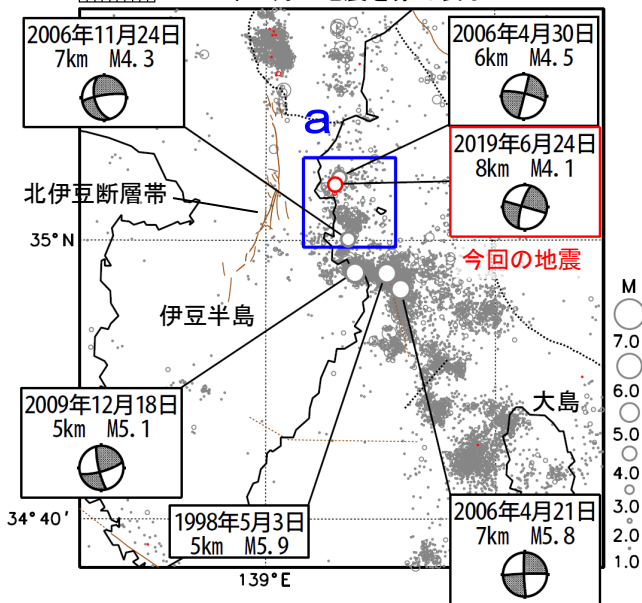


6月24日 伊豆半島東方沖の地震

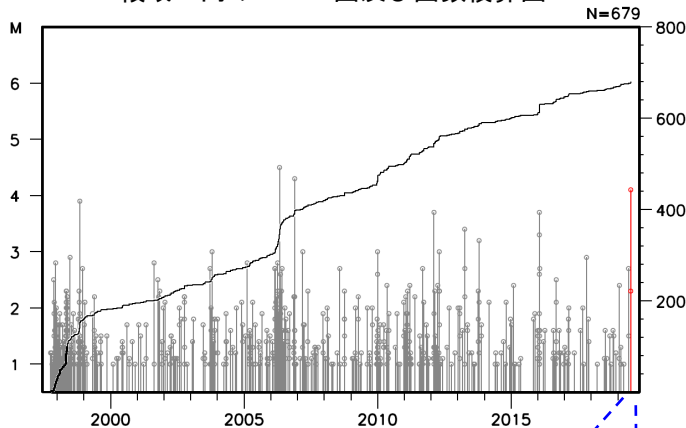
震央分布図

(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)

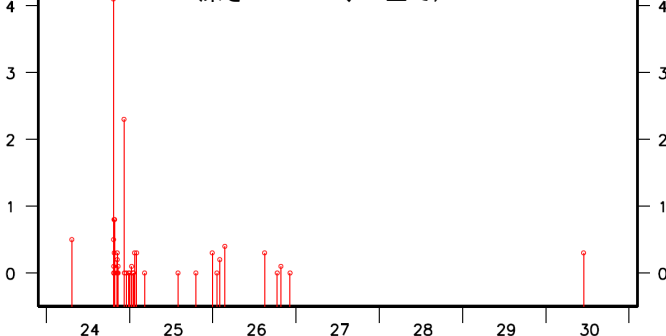
2019年6月の地震を赤く表示



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



(M-T図のみ、2019年6月24日～30日、
深さ0～20km、M全て)



震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層帯を示す。

2019年6月24日19時22分に伊豆半島東方沖の深さ8kmでM4.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。発震機構は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

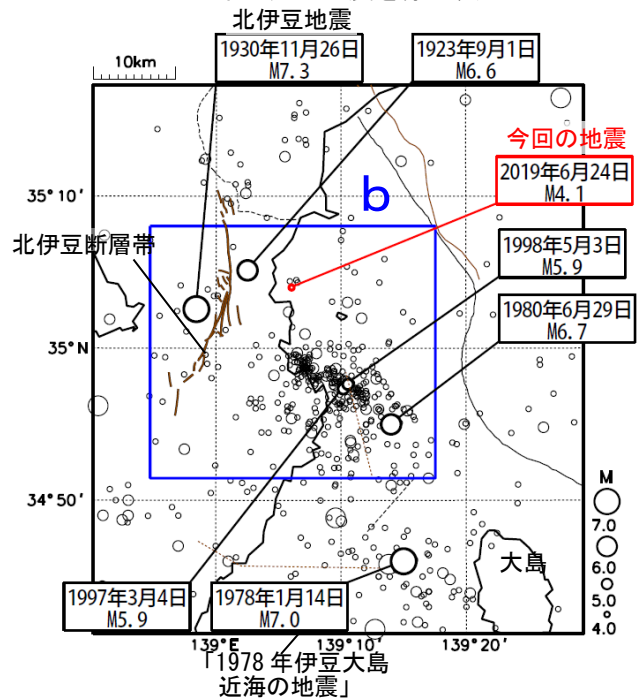
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）は、定常的に地震活動の見られる領域であり、2006年4月30日にはM4.5の地震（最大震度5弱）が発生した。今回の地震の南側では、伊豆東部火山群のマグマの貫入に伴うまとまった地震活動が時々見られている。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、1930年11月26日にM7.3の地震（最大震度5）が発生した。この地震により、死者272人、負傷者572人、住家全壊2,165棟の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)

2019年6月の地震を赤く表示



領域 b 内の M-T 図

